

平成 23 年 3 月 25 日

日本ハリストス正教会教団  
管轄司祭 及び 教会 各位

日本ハリストス正教会教団  
仙台の主教 セラフィム



### 第 3 回東日本大震災の現状報告

主の御名によりてご平安をお祈りいたします。

これまで 2 回にわたり被災地域の教会の状況を報告いたしましたが、その後、管轄神父達の調査により判明したことをご報告いたします。

(1)石巻正教会

- ・聖堂及び司祭館への浸水は軽微なものであり、洗浄・清掃により使用可能。若干の補修が必要。
- ・津波被害による永眠者 1 名（ニコノル香味勉）。行方不明者 2 名（アンドレイ米里公良、フェオドシイ米里創）。避難所生活者は数戸、数名程度。

(2)涌谷正教会

- ・津波被害による永眠者 1 名（ソフィヤ中川つね子）。行方不明者 1 名（モイセイ中川五代治）。

(3)盛正教会

- ・津波被害による永眠者 3 名（リュボフ伊勢美恵、ペトル伊勢大義、マルファ伊勢あい）。

(4)山田正教会

- ・津波被害による行方不明者 1 名。

(5)金成正教会

- ・栗原市の調査により、聖堂の基礎石部分に陥没があり、倒壊の可能性を指摘される。

(6)佐沼正教会

- ・地震被災により信徒数名の家屋・店舗の大規模な被害が判明、危険建造物指定を受ける。会堂もその可能性有り。

(7)気仙沼正教会

- ・会堂及び集会所は無事。
- ・信徒 2 戸家族は無事。しかし、家屋の被害が大きく、避難所生活を送るが教会集会所に移る予定。

(8)高清水正教会

- ・会堂屋根部分、内部壁亀裂等の被害有り。信徒は無事。

以上、現在確認していることをお知らせいたします。津波被害による永眠者が発生いたしました。この方々の永遠の安息を願い、お祈りをお願い申し上げます。